

Mission 3

お手軽リモコン飛行機を 作るう

YAMANEKO

「憧れのラジコン・ヒコーキをラジコン・システムも含めて自作する！」
なんていうことは、1年ほど前は大変なことでしたが、赤外線送受信機システムや室内飛行に適した飛行玩具などが発売されて、ラジコン飛行機の自作が容易にできる時代になりました。

自分の手で作った飛行機が自在に飛ぶとき、
ただ完成品を買って飛ばすのとは
まったく違う感動を味わえます。

楽しいラジコン飛行機工作の
世界へようこそ

ラジコン飛行機の工作を始める前にちょっとお勉強

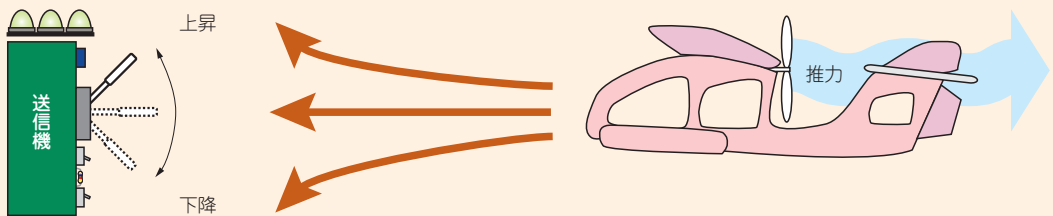
室内ラジコン飛行機はどうやって操縦されているか

インドア・プレーンを飛ばしているとき、自在にゆっくり飛ぶ飛行機を見ている人が必ずする質問があります。それは、

?? 「どうやって操縦しているの?」 ??

Q. どうやって機体を上昇させたり、下降させたりしているのか?

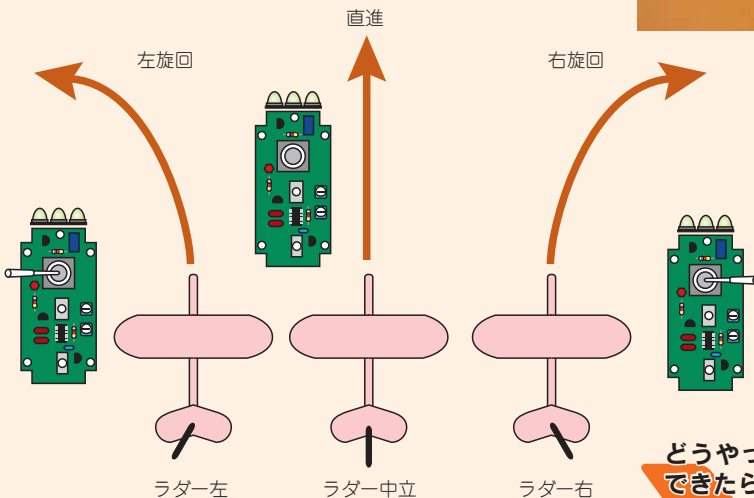
A. プロペラの回転が速い(推力が強い)と上昇する。



赤外線送信機(Mission1参照)のスロットル・レバーを上げ下げして、プロペラを回すモータの回転数を変えることで、プロペラが作り出す機体を押す力(推力)変化させて機体を上昇/下降させています。ちなみに、飛行機が落ちようとする力と推力が釣り合った状態で、飛行機は水平飛行します。

Q. どうやって機体を左右に旋回させているのか?

A. 飛行機のおしりの部分にある方向舵(ラダー)を左右に曲げて旋回する。



赤外線送信機のスティックを左に倒すと機体のラダーが左に曲がり左旋回する。スティックを右に倒すと右旋回する。スティックが中立なら機体は直進する。

どうやって操縦しているか理解
できたら、次は…部品集め。



お手軽リモコン飛行機を作ろう